

蕨 広報WARABI 7

2024/令和6年
わらび・888

- 令和6年7月1日発行／発行所・蕨市役所
- 6月1日現在人口：76,304人 前月比 +84人
世帯数：41,712 人口密度：14,932人／km²
- 蕨市の面積 5.11km²



～今月の特集～

- 駅前広場・公共公益施設の整備計画… 2
- 検証 市長マニフェスト……… 6

虫取り網握りしめ冒険へ！

毎月第3土曜日に富士見公園で開催しているプレーパークでのひととき。草木と一体となり思い切り夏を楽しみました。



未来への飛躍の核となる蕨駅西口再開発事業

駅前広場・公共公益施設の整備計画

「蕨の玄関口の再生と魅力づくり」を目的に進められている蕨駅西口再開発事業。ここでは、リニューアルされる駅前広場と、駅に直結する再開発ビルに開発予定の公共公益施設の整備計画について紹介します。

再開発でまちの魅力発信 駅前広場もリニューアル

1日の平均乗車人員が5万人を超える蕨駅は、電車やバス、タクシーなど市内公共交通機関のターミナルであり、

その駅前には蕨に住む人、蕨を訪れる人が行き交う、いわばまちの玄関口。そのため、蕨駅西口再開発事業は、蕨が選ばれるまちとして魅力を発信し、未来へ向けて成長するために、とても重要な事業です。先行して進められた第1工区は文化ホールくるるなどの公共公益施設や高層住宅が整

備され、平成23年度に事業が完了しました。そして、第2工区が、今年1月に着工（左ページ囲み参照）。令和9年7月の竣工を目指して、施行者である再開発組合により工事が進められています。

第2工区では、第1工区に続くプロムナード（遊歩道）や公共公益施設、商業施設、都市型住宅が調和する、魅力ある空間づくりを進め、駅前広場の再整備も行います。広場の完成イメージは上図のとおり。蕨らしさを感じる、新たなまちの玄関口にふさわしい駅前

▶線路側上空から見た再開発区域全体の様子（5月20日撮影）





①上空から見た駅前広場整備後のイメージ（鳥観図） ②第1工区側から見た整備後の建物とプロムナードのイメージ ③現在の駅前広場 ④工事の様子（先月19日撮影・B棟建設予定地）



駅前広場は拡幅再整備を行い更に安全便利快適に

駅前広場の整備方針の1つ目は、「安全性の向上」です。駅前広場は、電車を利用する歩行者や家用車のほか、バスやタクシーなどの公共交通機関の乗降場所でもあり、複数の交通機関の動線が集中しています。再整備に合わせて、民間バスは広場北側に、コミュニティバス「ぶらっとわらび」とタクシーの利用区画は南側に配置することで、混雑状況を改善し、安全性の向上を図ります。

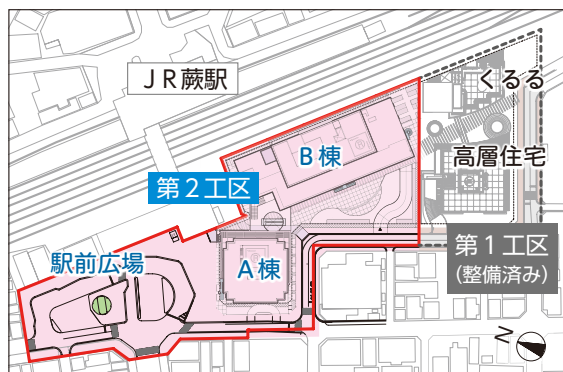
2つ目は、「利便性の向上」です。体の不自由な人が車を乗り降りする乗降場を新設するほか、バスやタクシーが歩道に接して停車することで乗降が楽になるよう、歩道の形状も工夫するなど、ユニバーサルデザインを取り入れます。3つ目は、「快適性の向上」です。再整備により、南側へ約12m広場を拡幅するほか、駅舎と連続した通路屋根やベンチを整備することで、バス

待ちなどの時間も快適に。また、歩道は3色のブロックにより縞模様が作られ、かつて機織りのまちとして栄えた蕨の特産品・双子織の柄をイメージした、蕨らしい通りとなります。

駅前広場の再整備は令和7年度の後半に開始予定です。

多くの人が往来する区域のため、安全を第一に、利用者や近隣の皆さんにも配慮しながら、市は今後も再開発組合を支援し、連携して事業を進めていきます。

蕨駅西口再開発事業概要



- 施行者名 = 蕨駅西口地区市街地再開発組合
- 全体面積 = 約1.3㍍²（駅前広場 = 約5,100平方㍍、建物敷地面積 = 約7,300平方㍍）
- 施設建築物 / A棟・B棟 = ともに地下1階、地上28階 主要用途 = 商業施設、公共公益施設、住宅施設（415戸）、駐車場
- 竣工 = 令和9年7月（予定）
- 詳細 = まちづくり課（☎433・7817）

期待の声

近隣の人も集まる駅前に



さとう きよみ
佐藤 清美 さん
北町4丁目

再開発事業で蕨駅前に新しいお店や施設が出来るそうなので、市民だけでなく、市外の人遊びに来るようになるといいですね。駅前が人のにぎわうと、昔からある市内のお店も活気づきそうです。

豊かなときを創る ほっとプレイス

新たな公共公益施設

人生を豊かにする学びや出会いが生まれる心地よい居場所を目指し、新たに整備される公共公益施設（行政センター・図書館）を紹介します。

駅直結の利便性を生かし豊かなときを過ごす場に

再開発事業により、駅と再開発ビルが2階デッキで直結し、B棟の3階には、「豊かなときを創る ほっとプレイス」をコンセプトに、行政センターと図書館が整備されます。エントランスロビーのすぐ奥にあるのが、行政センター（下配置図参照）。各種証明書の発行や転入・転出をはじめとした住民異動手続きなどができる窓口に加え、パスポートセンターが設置されます。

図書館は、床面積が現図書館の約1810平方メートルから約2050平方メートルに拡大し、また、ワンフロアの施設となることで階段等が必要なくなる

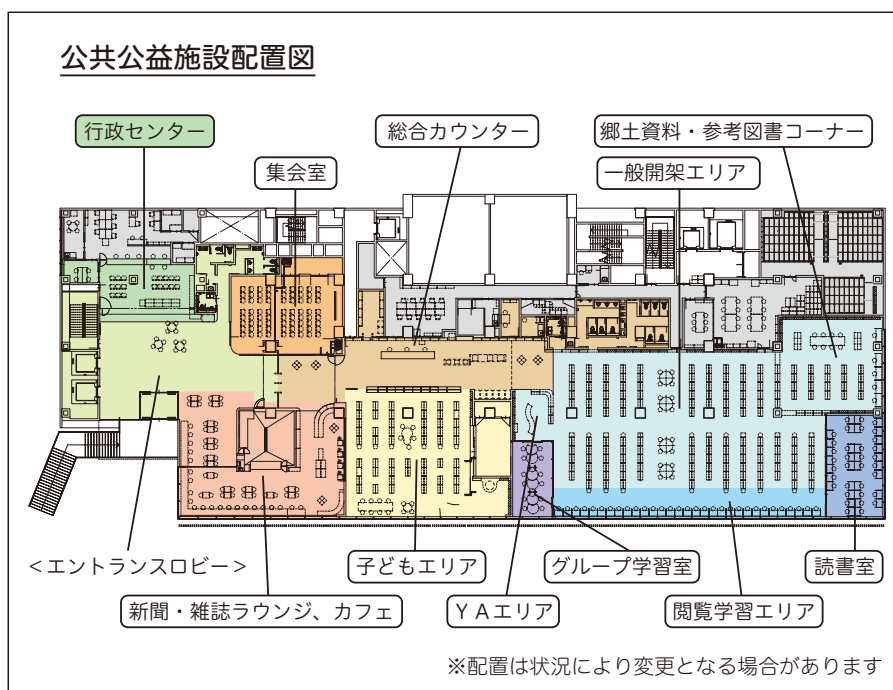
ため、来館者が利用できるスペースが大きく広がります。入口ゲートを通ると、右側に飲み物も楽しめるカフェスペースと一体的に整備された新聞・雑誌ラウンジがあります。左側の集会室は、図書館の催しや閲覧席など、フレキシブルな運用を想定したスペースに。先に進むと、親子で本に触れ合える子どもエリア

やYA（ヤングアダルト・主に中高生世代）エリア、グループ学習室。その先には一般開架エリアが広がり、窓際に閲覧席が並びます。奥には、静かに過ごせる読書室や郷土資料・参考図書コーナーが配置されます。更に、予約本が受け取れる自動貸出機の導入や開館時間の延長など、利便性も大きく向上する予定です。市では市民の皆さんが気軽に立ち寄り、心地良い、豊かな時間を過ごせる空間を目指し、公共公益施設の整備を進めていきます。

問い合わせ／公共公益施設について
政策課（☎433・7698）
図書館について
同館（☎444・4110）



※上図は全てイメージです



2人目以降の 市立小・中学校給食費無償化の 申請受付が始まりました

対象 養育している子のうち、中学生以下の子から数えて、2人目以降の子で、市立小・中学校に在籍している児童生徒。
4月分の給食費から全額補助し、実質無償化します。
※給食費や市税等の滞納者、生活保護・就学援助等で給食費相当額の受給者は対象外です。

申請 申請書を11月29日までに学校か学校給食センターに提出ください。申請書は右記二次元コードまたは学校・市役所・東公民館で入手できます。



～スケジュール～

申請(11月29日まで)

申請書に通帳等の写しを添えて、学校または学校給食センターに提出してください。

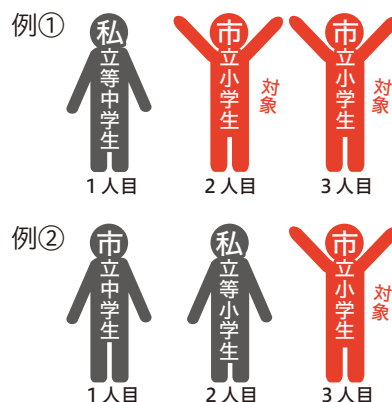
還付(来年3月頃)

一度お支払いいただいた令和6年度分の給食費を一括で指定の口座に還付します。



◀楽しく給食を食べる子どもたち

対象児童生徒のイメージ



詳細＝同センター (☎443・4151)

ご利用ください

クールオアシス蕨・クーリングシェルター



～実施施設～

- 市役所庁舎
- 福祉・児童センター
- 保健センター
- 交流プラザさくら
- 図書館 ○市民会館
- 各公民館

期間＝9月30日まで

詳細＝保健センター(☎55990・431)

暑 い夏が今年もやってきました。この時期に気をつけたのが熱中症。昨年は埼玉県内で5720人もの人が熱中症により救急搬送されました。暑さを避け、こまめに水分補給をして、自分の身を守るとともに、周りの人の体調も気にかけてください。市では、熱中症対策として、13公共施設を一時休憩などに開放する「クールオアシス蕨」を実施。また、熱中症特別警戒アラート発表時にはクーリングシェルターとなり、危険な暑さから避難できる場所として開放します(詳細下囲み)。「クールオアシス蕨」を上手に利用して、元気に夏を乗り切りましょう。

point

熱中症特別警戒アラート

過去に例のない危険な暑さ等となり、重大な被害が生じるおそれがある際に発表。自分の身を守るだけでなく、高齢者、乳幼児等の熱中症にかかりやすい人が涼しい環境で過ごせているかも確認してください。

クーリングシェルター

危険な暑さから身を守る指定暑熱避難施設です。熱中症特別警戒アラート発表時は避難できる施設として開放。熱中症対策キットが備えられ、応急手当ができます。



▲熱中症対策キット

市民の暮らしを守り、
蕨の更なる飛躍へ

「あつたか市政」着実に前進

頼高英雄市長が5期目をスタートさせてから1年が経過し、この間、市民の皆さんとお約束した新たなマニフェストは、着実に進められています。ここでは、その進捗状況についてお伝えします。



市民の皆さんと意見交換する頼高市長

実施済みと着手合わせて
マニフェスト達成率74%

5期目のマニフェストは、全50項目あります(左ページ参照)。この1年間で、織りなすクーポン第2弾の実施や高齢者の補聴器購入費助成、带状疱疹ワクチン助成、18歳までの子ども医療費完全無料化、群馬県片品村とのカーボンオフセット推進など、「実施済み」は18項目。また、蕨駅西口再開発事業の着工や市立病院の建て替え方針決定、山梨県笛吹市などとの防災協定締結、市独自の2人目以降給食費無償化

マニフェスト実施状況(50項目)

実施済み 36%	※一部実施・着手を合わせた達成率は74%
◎：実施済み	18項目
○：一部実施・着手	19項目
△：検討中	13項目
★：変更	0項目

など「一部実施・着手」が19項目、合わせて74%の項目で取り組みが進んでいます。今後も市民の皆さんと心を通わせながら、選ばれる・成長するまち蕨の実現に向けて、着実に前進していきます。

子ども医療費
無料化



県南地域でいち早く18歳までの医療費を4月診療分から完全無料化

カーボン
オフセット



片品村と共同で整備を行う「わらびの森」では森林教育も実施

今後も子育て支援に期待

今年高校生になった息子は部活だけががをすることも多く、通院医療費の無料化にはとても助かっています。少子化が進む中、子育て支援はますます重要になってくると思うので、蕨の未来のためにも更に充実すると嬉しいです。



さとう あきひこ
佐藤 昭彦 さん
錦町5丁目

自然と触れ合う環境学習

市がカーボンオフセットを進める片品村で開かれる自然体験教室ツアーに娘が参加します。友達と過ごす時間を楽しみながら、森や自然に触れ、環境問題やSDGsについて考えるきっかけにもなったらいいなと期待しています。



えぐち ゆきこ
江口 由美子 さん
塚越4丁目

1. みんなが自分らしく、健康で幸せに暮らせるまち蕨へ

3月にヤングケアラー支援条例を制定、高齢者の補聴器購入費助成や带状疱疹ワクチン助成制度を4月に開始しました。

- 市立病院の早期代替えで、安心の医療体制整備
- 健康まちづくり（スマートウェルネスシティ）の推進
- △蕨らしい地域包括ケアシステムを構築
- 带状疱疹ワクチンへの助成
- 高齢者の補聴器購入費への補助
- 県内で最も充実した敬老祝いの継続
- 障害のある方の生活支援や就労支援など包括的支援体制を整備
- 障害者入所施設の市内や近隣市での設置をめざし、社会福祉法人や近隣市と連携
- 精神障害のある方へのタクシー券助成
- ヤングケアラー支援条例の制定
- 養育費保証支援制度の創設などひとり親家庭への支援拡充
- 地域福祉計画と再犯防止推進計画の策定
- ジェンダー平等を推進、多様性を尊重し、パートナーシップ制度を早期に導入

2. だれもが安全で安心して暮らせるまち蕨へ

山梨県笛吹市や(株)ルネサンスと防災協定を締結したほか、家庭用防犯カメラ設置費の補助を4月に開始しました。

- △災害用トイレの整備や水道の更なる耐震化、大規模水害対策の強化
- 自主防災組織への支援と民間企業・団体との更なる防災協定の締結
- 街なか防犯カメラ増設と防犯カメラ設置費補助
- 交通安全対策や振り込め詐欺被害防止のいっそうの推進
- 犯罪被害者支援条例の制定と見舞金拡充

3. 子ども達がいきいきと育つ、子育てしたいまち蕨へ

1月に多機能型地域子育て支援センター「ほっこり〜の蕨中央」が開設。また、4月からは18歳までの医療費完全無料化、第2子以降の給食費無償化を開始しました。

- △蕨駅前に、便利で魅力的な図書館を整備（若者コーナー、カフェ、夜間開館等）
- 給食費の完全無償化を国とともに推進 市独自に2人目以降給食費無償化を早急に実施
- 県南初の18歳までの子ども医療費完全無料化
- 子どもの居場所づくりとボール遊びや自然とふれあえる公園の整備
- △全学校トイレの洋式化とICT環境のいっそうの整備
- 子ども達が絵本にふれあえる「セカンドブック」事業の実施と読書通帳作成
- スクールカウンセラーの増員や学習室の拡充など、不登校の子ども達への支援充実
- △発達障害の子や医療的ケア児と家族への支援拡充
- 産後ケアや一時保育、親子の居場所づくりの充実

物価高騰から市民の暮らしを守る緊急対策（第9弾）

昨年11月から1月まで、全ての市民の皆さんに1人5,000円の暮らし応援券を支給する事業を実施しました。

◎織りなすクーポン第2弾の実施、など

4. 楽しく、活気のあるまち蕨へ

蕨の玄関口である蕨駅西口の再開発事業が1月に着工したほか、空き店舗対策を更に進めていくため、3月には蕨市エリアリノベーション推進協議会を設置しました。

- 蕨の未来への飛躍の核となる蕨駅西口再開発の推進・完成
- △中山道に「にぎわい交流拠点」を整備
- △駅前通りを「にぎわい交流軸」として整備
- 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参加
- 街なかの商店で、楽しくお買い物ができるまち（サブリースなど空き店舗活用の推進、創業講座や事業承継への支援）
- △中央プールを室内プールに改修、学校とも連携
- 富士見野球場・塚越グラウンド整備、グラウンドゴルフの場の確保など生涯スポーツの更なる推進
- △音楽のまちづくりや生涯学習の更なる推進と充実 公民館等へのWi-Fi設置
- △現図書館を文化芸術の拠点として活用を検討

5. 住み心地の良い、日本一のエコシティ蕨へ

自宅で手軽に野菜などを育て、緑や土に触れ合えるプランター・ファームを推進。また、カーボンオフセットを進めるため群馬県片品村と森林整備協定を締結しました。

- ◎ゼロ・カーボンシティを宣言
- 太陽光発電の補助拡充など省エネ・再エネ加速化
- プランター・ファーム in わらびの推進
- 民間事業者と連携し、シェアサイクルを実施
- 片品村などとカーボンオフセットを推進
- △鉾町土地区画整理事業の更なる推進
- ◎マンション管理適正化計画の推進と相談支援体制拡充

6. みんなで創る未来に飛躍するまち蕨へ

昨年10月、おくやみ窓口と外国人総合相談窓口を新設。また、SDGs提案制度により市民協働のまちづくりを進めています。

- △蕨駅前に行政センターとパスポートセンター整備
- 行政と民間企業・団体との連携（公民連携）推進
- わらびSDGsパートナー制度の創設やSDGs提案制度の創設
- ◎おくやみ窓口設置や外国人の総合相談窓口の設置
- △東公民館の行政センター機能強化、塚越ビジョン策定
- 自治体DXの推進で、便利で効率的な市役所へ

高齢者補聴器
購入費助成



聴覚障害に該当しない中等度難聴の高齢者に補聴器購入費助成開始

補聴器で家族旅行も快適

補助制度を利用して補聴器を購入してから、海外に住む息子を訪ねました。以前は人が多いと家族の呼びかけが聴き取れず、はぐれることもあったのですが、今回は快適な旅に。本当に助かっているため友人たちにも勧めています。



あおき としひろ
青木 利廣さん
中央3丁目

民間企業と
防災協定



災害時に一時避難所として施設利用が可能となったルネサンス蕨24

ご近所施設で避難も安心

災害時に小さな子どもを連れて避難することを考えると、避難所は近くてなじみのある施設が安心。自宅からすぐのルネサンス蕨24が一時避難所として利用できるのはいいですね。こういった協力施設が増えてほしいです。



えんどう このみ
遠藤 琴美さん
南町2丁目



日本一早く実がなる地域の宝

みんな大好き わらびりんご

今年も市内各地で市民の皆さんがわらびりんごの収穫をしました。
ここでは、その様子やわらびりんごの誕生秘話について紹介します。

「リンゴのない季節に病人や子どもに新鮮なリンゴを」と、故・吉澤正一さんが開発したわらびりんご。この蔵生まれのリンゴを後世に残し、まちづくりにも生かそうと普及活動が広がり、今では多くの皆さんに親しまれています。今年も日差しを浴びて実を膨らませ、先月に収穫の時期を迎えました。子どもから大人まで、リンゴをもぐ度にすてきな笑顔を見せてくれた皆さん。これからもわらびりんごは地域の宝として、笑顔の輪を広げ続けていきます。

🍎 ご存じですか わらびりんご

錦町の農家、故・吉澤正一よしざわしやういちさんが約20年がかりで研究・開発した蔵生まれのリンゴ。桜と入れ替わるように白いかれんな花を咲かせ、6月中旬～下旬に収穫できる日本一の極早生種わさせです。直径7センチ前後、重さ150～200グラムで強い酸味が特徴です。



● 仲間になりませんか

▼ 蔵南サッカー 土曜日 午後1時 日曜日 祝日 午後2時半 南小学校 3歳～小学生 月500円 2000円 (佐藤・080・3000・6553)

▼ 蔵北町サッカー 土・日曜日 祝日 北小学校 年中～小学生 月1500円 2000円 (未就学児は年2000円) (小泉・090・4948・5936)

▼ 蔵スポーツ吹矢クラブ 金曜日 午後1時 西公民館 月500円 (小倉・043・6451)

▼ パルレ・フランセ 火曜日 (曜日・時間応相談) くるる 年会費2500円 1回2600円 フランス語 (初級・上級) (荒井・070・1305・4470)

▼ 蔵市舞踊連盟 (加盟団体募集) 会員が市内在住か活動拠点が市内の団体 1人年2000円 (瑞泉・090・2479・0682)

▼ じゃすみん蔵カラオケ会 月曜日 午後1時 金曜日 午前9時 じゃすみん蔵 (北町5-1-18) 月1000円 見学自由 (佐藤・080・3024・2531)

情報ダイヤル

掲載は無料で抽選です (前月未掲載の団体を優先)。申し込み = 毎月1日～5日の平日に秘書広報課 (☎433・7703) へ

※いただいた情報は、市ホームページにも掲載します。



夏にぴったり！

酸味を生かしサイダーなどへ！

市民の皆さんが収穫したわらびりんごは、サイダーやシャーベットなどに加工されます。また、新商品として、ようかんも販売予定。詳細は、決まりしだい広報蔵や市ホームページでお知らせします。
詳細＝商工観光課(☎433・7750)



今年も市内各地で わらびりんごを収穫！

市内小・中学校や保育園、児童館、公園、農家さんの畑など、収穫できる場所は市内約40か所。そのうち市民の皆さんが収穫した4か所の様子を紹介します。



- ① 錦町6丁目の農家さんの畑(先月10日)／地域の子どもたちが収穫体験。昨年の収穫量を上回る87.53畧の大豊作となりました
- ② 武南中学校(先月11日)／はしごを使いながら1年生の4人が力を合わせて収穫。わらびりんごを手にはにかむ笑顔がすてきです
- ③ 南町1丁目の農家さんの畑(先月12日)／赤く色づいたわらびりんご。試食をした子どもたちは「酸っぱいけどおいしい!」とご満悦でした
- ④ わらびりんご公園(先月15日)／園内のわらびりんごの木をたいせつに育ててきた同園自主管理団体の皆さん。901個ものリングが採れました



- ▼ 日々クラブカラオケ会 水曜日 午後1時 北町五丁目会館 月1500円 見学自由(佐藤・☎080・3024・2531)
- ▼ 健康麻雀カレッジ 中央公民館 月曜日 松原会館 水曜日 北町公民館 金曜日 午後1時 南公民館 土曜日 午後0時半 月1000円 1回10000円 中谷・☎070・6473・5335
- ▼ 北町囲碁クラブ 土曜日 午後0時半 北町公民館 無料(小林・☎431・3180)
- ▼ わらび錦サツカー 土・日曜日・祝日 午後2時 西小学校 未就学児 小学生 月1500円 2000円(未就学児は無料)
- ▼ 鈴木・☎warabinishiki@outlook.jp
- 参加しませんか
- ▼ 少林寺拳法蔵市スポーツ少年団 体験教室 13日(土) 午後6時 第二中学校 小・中学生 無料(上堀・☎090・9319・6782)
- ▼ ジュニアテニススクール 8月4日～11月24日 全10回 午前7時半 富士見テニスコート 小・中学生 先着40人 5000円(田代・☎070・6460・0193)
- ▼ 小学生水泳教室 8月9日～11日 午前9時～午前10時 塚越小学校 プール 先着各25人 1500円(大友・☎431・5997)
- ▼ 子どもお菓子教室 13日(土) 午後2時 いーとぴあ(中央3・22・30) 市内在住・在学の小学3年～6年生 先着8人 500円(同施設・☎432・5851)

大いににぎわった市役所

5月25日、^{ワラビーツ}蕨eat's主催のビアガーデン「夕暮れ市」が市役所庁舎前を会場に開催。晴天の下で冷たいビールを飲みながら、地域の逸品やキッチンカーの出来たての食べ物に舌鼓を打っていました。会場は出店者と来場者合わせて約7,000人の大盛況で、にぎわいと交流の輪が広がりました。



まちの話題

ここでは5月下旬から6月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します

親子で楽しむ子育て祭り

5月26日、福祉・児童センターで「子育て支援フェスタ」が開催されました。実行委員会とボランティアの皆さんによる手作りゲームコーナーや、パントマイムなどの大道芸、ふれあい動物園など、イベントが盛りだくさん。訪れた3,426人はさまざまな催しを親子で楽しみました。



力を合わせ美しいまちへ

先月2日、まち全体で清掃活動に取り組む「さわやか環境の日・クリーンわらび市民運動」が市内全37町会で実施されました。参加した2,942人の皆さんが、手分けして道路や公園などのさまざまな場所を清掃し、集められたごみは合計5,800kg。早朝からのご協力、ありがとうございました。



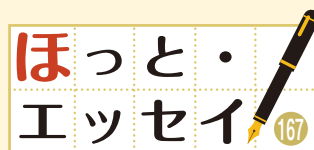
「ハローわらび」7月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	28(金)～7/4(木)	5(金)～11(木)	12(金)～18(木)	19(金)～25(木)	26(金)～8/1(木)
00	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウンワイド フラを楽しもう！	市政ガイド わらび市政ほっとNews	タウンタウンワイド 小学生将棋大会	市政ガイド わらび市政ほっとNews
05	タウンタウン 北町イングリッシュルーム	気まぐれシェフの フレンチ教室	タウンタウン わらびりんごの収穫	みどり保育園の七夕会	タウンタウン 東小学校の ハートフルサッカー
10	蕨市政なう！	親子でチャレンジ！講座 おこづかいゲーム！	安全安心なまちづくり	ゆったりのにびのび体操	蕨市政なう！
15	ゼロカーボンシティ宣言！ 温暖化防止に向けた 市の取り組み	フレイル予防教室	進めていますか 水害への備え	あさがお・ほおずき市	選ばれる・成長するまち 蕨の加速化へ 市長マニフェスト
20	探れたてスポット 地域の話題が 盛りだくさん	市政ガイド 熱中症にご注意ください	美術探訪 河鍋暁斎記念美術館	特集・ウィークリープラス 西小学校3年生 1泊キャンプ	探れたてスポット 地域の話題が 盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課（☎433・7703）



子ども達が本を大好きに！
読書手帳の配布がスタート

市長 頼高 英雄

私は本が大好きですが、思い返せば、子どもの頃「いたずらかんしゃ ちゅうちゅう」や「チョコレート戦争」など夢中になって何度も読んだ本を今でも覚えています。また、子どもと一緒に読んだ「いないいないばあ」や「エルマーのぼうけん」など思いつく深い本です。子どもの頃に、たくさん本と出合い、本が好きなになったり、親子で一緒に本を読んで触れ合うこ

とは、子ども達の成長にとつて、とても素晴らしいことです。

そんな思いから、蔵

市では、今年度から、子ども達に読書手帳「わたしのよんだ本」読書・よみきかせ手帳」を贈ることにしました。とても素敵なデザインで、100冊を達成するとかわいい記念品ももらえます。4か月児健診の際にお配りしますが、希望するお子さんや保護者にも図書館の窓口でお渡ししています。ぜひ、蔵の子ども達が、たくさん素敵な本と出合うことを願っています。



市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は4日です。8月は1日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。



フレンチを手軽に楽しく

先月12日、西公民館で「気まぐれシェフのフレンチ教室」が開かれました。参加した16人は、元ホテルシェフの佐藤和久さんの指導のもと、お手軽にできる3品の本格フレンチに挑戦。優しくアドバイスをもらいながら調理を始めると、たちまち会場はいいにおいと笑顔でいっぱいになりました。



が家のアイドル

-627-



ひなた
陽葵ちゃん（2歳6か月）
こいけ ゆうき
小池 裕貴さん
ゆうい
祐衣さんの 長女
中央5丁目

「優しくてお世話好きの陽葵。プレ幼稚園に行ったときには、泣いているお友達といっしょにお絵描きをして励ましたり、好きなおもちゃを譲ったり、相手の気持ちに寄り添う姿に感動しました。家では私を気遣い、洗濯のお手伝いをしてくれて助かっています。これからも、周りの人を思いやる気持ちを忘れず、明るく元気に成長してほしいです」と母親の祐衣さん。



女子サッカー
応援に感謝

5月28日、女子サッカーチーム「ちふれA S エルフェン埼玉」の主将・吉田莉胡選手とチームを運営する(株)エルフェンススポーツクラブの鈴木康之社長などが市役所を表敬訪問し、活動を報告。蔵市の応援に感謝を述べ、来期の更なる躍進を誓いました。



一人ひとりと丁寧に向き合う日月さん

輝いています

ひと

たち もり ひろ こ
日月 博子 さん

暮らしの保健室「あひるの家」代表

ここに行けば誰かに会える

「保

健室が、まちの中にもあったらいいと思うんです」。

そう熱心に語るのは、暮らしの保健室「あひるの家」代表の日月博子さん（64歳・南町2丁目）。

昨年4月から、専門家に健康や介護のさまざまな相談ができる場所「あひるの家」を開催しています。

蔵市で26年間、訪問看護師として働いてきた日月さんは、多くの人が自分の健康や家族の介護の悩みについて一人で抱え込み、多様化するサービスから適切な支援を選び取れない現状にもどかしさを感じていました。時間や制度にとらわれず、一人ひとりが丁寧に話を聞き、悩んでいる人たちの力になりたいという思いが募り、定年退職を機に、看護師としてともに働いてきた林まき子さんと、あひるの家をスタートさせます。

現在、三つの公民館で定期開催しているあひるの家には、相談のある人が訪れるだけでなく、血圧測定や脳トレなど、皆さん自由に過ごしています。

自分の体と向き合ううちに自然と不安や悩みに気がつくことも。利用者からの相談には、看護師として培った知識を生かし、最適解を探します。「気軽に話せる確かなアドバイスができるのが、あひるの家の強み」と日月さん。利用者も親身になって話を聞いてもらい、不安な気持ちや和らいだと笑顔を見せてくれました。

日月さんの献身的な姿に共感し、医師やケアマネジャーなどの専門家仲間も活動に協力してくれるようになり、つながりの輪は着実に広がっています。今後の目標は、困っている人と専門家をつなぐハブになること。今月24日には東公民館で「ミニ・健康まつり」を開催予定です（お知らせ版1ページ）。「ここに行けば誰かに会える」を合言葉に、これからもほっと心が休まる場所を目指して、活動は続きます。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品
蔵にあり

—No.98—

yosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎
天保2年（1831）
～明治22年（1889）

杜鵑は夏の訪れと共に渡来し、独特な鳴き声をするところから、古来和歌や俳諧などに詠まれました。清少納言は鶯より杜鵑を好んだことで知られており、『枕草子』の中で、夜鳴くことをその理由に挙げています。本図は満月と、羽ばたく二羽の杜鵑が描かれています。嘴を開けた右の一羽からは、甲高いさえずりが聞こえてくるようです。晩斎は夜空の中で鳴く杜鵑を、墨の濃淡のみにて描き、古典の中で愛された杜鵑の姿を余すところなく表現しています。

河鍋晩斎記念美術館 開催中

企画展「晩斎・晩翠 いきもの美術館」展
同時開催 特別展「第38回かえる」展

開 館＝午前10時～午後4時 ところ＝南町4-36-4

休 館＝火・木曜日、26日～末日

入館料＝一般600円 高校生・大学生500円

小・中学生300円 65歳以上500円

※65歳以上は年齢の分かる物、

学生は学生証をご提示ください

詳 細＝同館（☎441・9780）



本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

晩斎筆「月に二羽の杜鵑」
紙本墨画 軸装



詳しい内容は
美術館のホーム
ページをご
参照ください